

# 広野町のシンボル「母なる故郷の川」 浅見川の整備

相双-5

浅見川周辺地区

広野町

相双建設事務所  
計画期間：H25～H27

## 地域づくりの方針

浅見川の生態系や水環境を守り、流域の資源を継承・発信しながら様々な夢を実現させ、人が集い楽しめる浅見川を目指すために、浅見川の豊かな生態系や水環境を保全していくと同時に、流域に存在する貴重な植物や広野町に伝わる物語を後世に伝え、内外に浅見川の魅力を発信していきます。また、様々な年代の人々が浅見川を日常的に利用できるようにし、浅見川での体験を通じて故郷への愛着を持てる川づくりを目指します。

## 主な事業内容

広野町浅見川において帰還支援の環境づくりのため、住民等が憩い集えるような

### 親水施設

を整備します。

## 事業概要図



## 地域の現状

浅見川は、広野町にとって「母なる故郷の川」として親しまれている川であり、同時に広野町の「シンボル」としてこれまで大切に受け継がれてきました。

当河川については、地域住民の憩いの場としての利用価値を高め、地域振興の促進に寄与するため、震災前より地域住民、広野町、福島県により構成される憩親会等により「浅見川水辺環境づくり計画」を策定してきました。

広野町では、東日本大震災による津波被災後、警戒区域見直しにより住民帰還を後押しするため、地域住民の交流の場として整備を継続する意向であり、計画・設計等の見直しが必要となっております。

## 地域づくりのあゆみ

平成21年

- ・「浅見川流域懇談会」の開催。  
浅見川水辺環境づくり計画。

平成22年

- ・「浅見川ゆめ会議」の開催。

## 元気づくりの立役者たち

### 「母なる故郷の川」浅見川



## 地域の課題・今後の展望

広野町においては警戒区域見直し後の住民帰還が様々な要因により進んでおらず、今後の帰還を後押しするためにも、地域住民憩いの場としての親水施設整備を進めるものであります。

## 事業の効果

### ■期待される効果

- ・浅見川の将来の姿を考えることで、広野町のまちづくりへもつながります。
- ・浅見川で自然と触れ合い、歴史を学ぶことで、豊かな心を持った子供たちを育てます。
- ・浅見川をPRして「広野町ならではの」のブランドを発信。
- ・地域住民の健康増進。

## 関係機関

- 福島県相双建設事務所企画調査課
- 広野町
- 浅見川ゆめ会議（地域住民）

TEL : 0244-26-1228

TEL : 0240-27-2111